

令和2年度 社会科 第3学年 歴史的分野・公民的分野 年間指導計画・評価規準

調布市立第四中学校

1 教科目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 社会科の観点及びその趣旨

○社会的事象への関心・意欲・態度

社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。

○社会的な思考・判断・表現

社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

○資料活用の技能

社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

○社会的事象についての知識・理解

社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。

(1) 歴史的分野の評価の観点及びその趣旨

○社会的事象への関心・意欲・態度

歴史的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の伝統と文化について考え国民としての自覚をもとうとする。

○社会的な思考・判断・表現

歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

○資料活用の技能

年表や歴史地図、映像など歴史に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

○社会的事象についての知識・理解

我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史背景に、各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身に付けている。

(2) 公民的分野の評価の観点及びその趣旨

○社会的事象への関心・意欲・態度

現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとする。

○社会的な思考・判断・表現

現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

○資料活用の技能

統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

○社会的事象についての知識・理解

現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身に付けている。

3 各分野の目標

(1) 歴史的分野の目標

- ①歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。
- ②国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。
- ③歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、他民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。
- ④身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

(2) 公民的分野の目標

- ①個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- ②民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- ③国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- ④現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

4 年間指導計画・評価規準

評価の観点：①社会的事象への関心・意欲・態度 ②社会的な思考・判断・表現 ③資料活用の技能 ④社会的事象についての知識・理解

(1) 歴史的分野

月	指導計画	評価規準	評価方法
6 ・ 7	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国 1 近代革命の時代 2 産業革命と19世紀のヨーロッパ 3 ロシアとアメリカの発展 4 ヨーロッパのアジア侵略 5 開国と不平等条約 6 尊王攘夷運動と開国の影響 7 江戸幕府の滅亡 2節 明治維新 1 新政府の成立 2 明治維新の三大改革 3 富国強兵と文明開化 4 近代的な国際関係 5 国境と領土の確定 6 自由民権運動の高まり 7 立憲制国家の成立 3節 日清・日露戦争と近代産業 1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成	①近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国との関わりに留意しながら、意欲的に追究している。 ②近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。 ③近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関するさまざまな資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。 ④開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ④日本の国際的地位が向上したことや近代産業が発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身につけている。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
7 ・ 8	第6章 1節 第一次世界大戦と日本 1 第一次世界大戦 2 ロシア革命 3 国際協調の高まり 4 アジアの民族運動 5 大正デモクラシーと政党内閣の成立 6 広がる社会運動と普通選挙の実現 7 新しい文化と生活	①二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身につけている。 ①戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。 ②各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。 ②日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	授業観察 レポート 提出物 小テスト 定期考査

	二度の世界大戦と日本	<p>2節 世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>1 世界恐慌とブロック経済</p> <p>2 欧米の情勢とファシズム</p> <p>3 昭和恐慌と政党内閣の危機</p> <p>4 満州事件と軍部の台頭</p> <p>5 日中戦争と戦時体制</p> <p>3節 第二次世界大戦と日本</p> <p>1 第二次世界大戦の始まり</p> <p>2 太平洋戦争の開始</p> <p>3 戦時下の人々</p> <p>4 戦争の終結</p>	<p>③表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。</p> <p>③写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。</p> <p>④二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。</p> <p>④二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。</p>	
8	<p>第7章</p> <p>現代の日本と世界</p>	<p>1節 戦後日本の発展と国際社会</p> <p>1 占領下の日本</p> <p>2 民主化と日本国憲法</p> <p>3 冷戦の開始と植民地の解放</p> <p>4 独立の回復と55年体制</p> <p>5 緊張緩和と日本外交</p> <p>6 日本の高度経済成長</p> <p>7 マスメディアと現代の文化</p> <p>2節 新たな時代の日本と世界</p> <p>1 冷戦後の国際社会</p> <p>2 変化の中の日本</p> <p>3 持続可能な社会に向けて</p>	<p>①祖父母、親の体験などを積極的に聞き、個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付けている。</p> <p>①地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つようとしている。</p> <p>②戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期を捉え、自分の意見を述べようとしている。</p> <p>③表やグラフなど数量的資料を積極的に活用している。</p> <p>③多くの写真や実物資料を用いて、当時の生活を実感している。</p> <p>④終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解し、その知識を身につけている。</p> <p>④終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。</p>	<p>授業観察 提出物 小テスト 定期考査</p>

(2) 公民的分野

月	指導計画		評価規準	評価方法
6	第1章 現代社会と私たちの生活	1節 現代社会の特色と私たち 1 グローバル化～結び付きを深める世界 2 情報化～情報が変わる社会の仕組み 3 少子高齢～変わる人口構成と家族 4 持続可能な社会に向けて 2節 私たちの生活と文化 1 私たちの生活と文化の役割 2 暮らしに生きる伝統文化 3 多文化共生を目指して 3節 現代社会の見方や考え方 1 社会集団の中で生きる私たち 2 効率と公正 3 決まりを作る目的と方法 4 決まりの評価と見直し	① 現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 ① 現代社会を捉える見方や考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。 ② 現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ② 社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連づけて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方や考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。 ③ さまざまな写真や統計資料などから、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。 ④ 現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身につけている。 ④ 現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
7	第2章 個人の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法 1 人権の歴史 2 立憲主義と日本国憲法 3 国民主権と天皇の地位 4 日本の平和主義 2節 人権と共生社会 1 基本的人権と個人の尊重 2 平等権―共生社会を目指して 3 自由権―自由に生きる権利 4 社会権―豊かに生きる権利 5 人権保障を確かなものに 6 「公共の福祉」と国民の義務 3節 これからの人権保障 1 新しい人権①―産業や科学技術の発展と人権 2 新しい人権②―情報化の進展と人権 3 グローバル社会と人権	① 個人の尊重の考え方と法の意義に対する関心を高め、民主的な社会の在り方について、社会の形成者としての立場から考えている。 ① 現代社会における人権に関する課題について関心を持ち、その解決について意欲的に追究している。 ② 日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ② 人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的分野の学習内容を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 個人の尊重の考え方や法の意義に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 ④ 個人の尊重の考え方や法の意義に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
8	第3章	1節 現代の民主政治	① 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。	授業観察

	と 社会 現代の 民主 政治	1 民主主義と政治 2 政治参加と選挙 3 政党と政治 4 マスメディアと世論 2節 国の政治の仕組み 1 国会の地位と仕組み 2 国会の働き	①民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。 ②政治に関するさまざまな事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ②選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。	提出物 小テスト 定期考査
9	第3章 現代の 民主政治と 社会	3 行政の仕組みと内閣 4 行政の役割と行政改革 5 裁判所の仕組みと働き 6 裁判の種類と人権 7 裁判員制度と司法制度改革 8 三権の抑制と均衡 3節 地方自治と私たち 1 私たちの生活と地方自治 2 地方自治の仕組み 3 地方財政の仕組みと課題 4 住民参加の拡大と私たち	③国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料をさまざまな方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。 ④国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身につけている。 ④多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
10	第4章 私たちの 暮らしと 経済	1節 消費生活と経済 1 私たちの消費生活 2 契約と消費生活 3 消費者の権利を守るために 4 消費生活を支える流通 2節 生産と労働 1 資本主義経済と企業 2 株式会社の仕組みと企業の社会的責任 3 労働の意義と労働者の権利 4 働きやすい職場を築くために 3節 価格の働きと金融 1 市場経済の仕組み 2 価格の働き 3 貨幣の役割と金融 4 私たちの生活と金融機関 5 景気と金融政策 4節 政府の役割と国民の福祉 1 私たちの生活と財政 2 政府の役割と財政の課題 3 社会保障の仕組み 4 少子高齢化と財政 5節 これからの経済と社会 1 公害の防止と環境の保全 2 グローバル化する日本経済 3 豊かさと経済	①身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究している。 ①消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在および将来の生活が密接に関わっていることに関心を持ち、調査や討論などに積極的に取り組んでいる。 ②企業の社会的責任や日本の財政の課題などについて、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。 ②さまざまな経済的事象や日本経済の諸課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。 ③経済に関する統計資料や新聞記事などをさまざまな方法で収集し、家計、企業、政府の経済活動や、日本経済の諸課題について読み取ったり、その結果を文章や図表などに適切にまとめたりしている。 ④身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。 ④社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身につけている。 ④経済活動に伴う環境汚染や自然破壊の問題について理解するとともに、それに対して政府、企業、家計のそれぞれが取り組むことの重要性を理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
11				

12	第5章	1節 国際社会の仕組み 1 国際社会における国家 2 国際連合の仕組みと役割 3 地域主義の動き 4 新興国の台頭と経済格差 2節 さまざまな国際問題 1 地球環境問題ー持続可能な社会の実現 2 資源・エネルギー問題ー限りある資源と環境への配慮 3 貧困問題ー公正な社会を創る 4 新しい戦争ー平和な世界に向けて 3節 これからの地球社会と日本 1 文化の多様性の尊重 2 日本の外交の現状と課題 3 世界とつながる日本 4 世界平和のために	<p>①国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。</p> <p>②さまざまな統計資料や写真、新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点からの確に表現している。</p> <p>③国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、発表や討論などを通して考えを深めたりしている。</p> <p>④国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p> <p>⑤世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。</p> <p>⑥地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のためのさまざまな取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身につけている。</p>	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
	地球社会と私たち	1 2		
3	終章	1 社会科の学びを持続可能な社会の形成につなげる 2 持続可能な社会を実現するための探究の方法 3 レポートの作成 4 探究を社会参画につなげる	<p>①持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心をもち、その解決策を意欲的に探究している。</p> <p>②より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。</p> <p>③持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野と歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。</p> <p>④持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について、社会参画の観点で捉えるとともに、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて考察している。</p> <p>⑤身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深めている。</p> <p>⑥持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって、さまざまな資料を適切に収集・選択し、活用している。</p> <p>⑦レポートを作成するにあたって、「テーマの設定→資料の収集と読み取り→考察→レポートの執筆・完成」という科学的な探究の過程をたどっている。</p> <p>⑧持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として、環境・エネルギー、人権・平和、伝統文化・宗教、防災・安全などがあることを理解し、それらの知識を身につけている。</p> <p>⑨持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連づけて理解している。</p>	授業観察 レポート 提出物 小テスト 定期考査
	より良い社会を目指して			

